

新年明けましておめでとうございます

昨年花ぐるま薬局は開局 10 周年を迎え、皆様からいただく処方箋も約 70 ヶ所の医療機関からいただくようになりました。地域の方々に「かかりつけ薬局」としてご利用いたけた賜物です。今後とも利用しやすい薬局を目指してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



昨年当薬局は『全日本民医連高齢者実態調査』に参加致しました。その中で、医療費・保険料などの負担増、将来への不安の声をうかがいました。まさに「病気になっても医療・介護を受けにくくなる」方向に益々進んでいる感を強くしました。「全ての人は平等に医療を受ける権利を持っている」との立場から、制度改善に向けた要請署名への取り組み、公的保障制度の紹介（昨年は来局される 65 歳以上の方へ、京都市の老人医療費助成制度の紹介や減免申請の紹介）を行いました。



一方政府の医療費抑制政策からではありませんが、ジェネリック医薬品（後発医薬品）の使用推進が進められています。ジェネリック医薬品は新薬（先発医薬品）の特許が切れ臨床試験などを省略して他の会社が販売する新薬と同じ成分の薬で、開発費が少ない分安い値段（薬価）になっているのが特徴です。生物学的同等性が試験され、同等以上であることが販売の条件となっています。しかし、供給がうまくできなかったり（取り寄せに時間がかかったり）、安全性の情報提供に劣る会社があるのも事実です。一昨年の日本ジェネリック研究会のホームページに『ジェネリック医薬品の取り扱いを積極的に取り組んでいる』と公表している医療機関・薬局が掲載され、京都新聞の特集記事にも紹介されていました。昨年から処方せんに「後発医薬品に変更可」の記載がされるのを機にジェネリックの処方が増えていきます。この欄に医師の署名があると、薬局では後発品と先発品の薬の同等性・価格を提示します。ご自身で資料を基に薬剤を選択していただきます。調剤時に初回のみ後発品情報提供加算として 100 円が加算されます。（1 割負担の方は 10 円） 選択した薬品名を医療機関に薬局から報告する。という流れになります。

	薬品名	1 錠の薬価	1 日服用量	1 月の薬価
ジェネリック	コリネール L 10mg	6.4 円	1~4 錠	192~768
先発品	B 社 A 製品 10mg	20.6 円	1~4 錠	618~2472

テレビなどで「薬代が半分になります」と宣伝していたりします。しかし、元々ジェネリック医薬品を多く処方されている場合は安くなりません。（医療機関では品質・原料・添加物も調査されて採用されます。薬局ではメーカーが代わりました等と説明してきました）また、ジェネリック医薬品のないものも多くあります。安くなる場合でも、薬局での負担金に技術料が含まれているため、負担金が半額になることはなく数十円しか安くないこともあります。あまり過度に期待せず、薬局に問い合わせてください。